

## ●研修カリキュラム

基本的には、農業関係の高等学校、農業大学校、短大及び大学を卒業していない人を対象とした**基礎的な内容**です。

講義・演習・校外学習は、原則として、火曜日又は木曜日のいずれかに行います。

また、講義・校外学習等は、雇用創出農業研修と合同で行います。

区 分	科 目	時間	内 容	対 象		
共通	開 講 式	3.0	校長あいさつ、オリエンテーション、自己紹介	全コース		
	就 農 支 援	36.0	就農経営計画作成、プロジェクト、個別面談等			
	閉 講 式	6.0	校長あいさつ、就農経営計画・プロジェクト発表			
	<b>履修時間小計</b>		<b>45.0</b>		<b>日数換算 7.5 日</b>	
学 科	講義	農業情勢と愛知県の農業	3.0	世界の食料事情と日本の農業情勢、愛知県の農業の特色	全コース	
		農 業 と 環 境	3.0	農業が環境に与える影響、環境に配慮した農業生産		
		農 産 物 の 流 通	3.0	農産物の流通経路、市場システム		
		農 作 業 安 全	1.5	農作業事故の発生原因と防止対策		
		農 業 経 営 の 基 礎	6.0	農業経営の概念、経営計画、経営管理、決算書		
		農 業 簿 記 の 基 礎	6.0	仕訳帳の基礎、決算処理、棚卸台帳、減価償却表の作成		
		税 制 の 基 礎	6.0	所得税、消費税、相続税、固定資産税の概要、青色申告		
		農産物のマーケティング	3.0	マーケティングの概念、構成要素、経営戦略		
		経 営 ( 財 務 ) 分 析	3.0	複式簿記の意義、経営分析、会計と税務、分析の方法		
		農 業 情 報 の 利 用	3.0	農業情報の収集、分析、利用、発信		
		食 育 概 論	3.0	食育の概念、健康増進、食事バランスガイド、野菜の効用		
		農産物のカラーコーディネート	3.0	色彩の基礎、言葉(イメージ)と色の関係、配色の基礎		
		相 手 に 伝 え る 話 し 方	3.0	わかりやすい話し方のポイント、聴き方、言葉の選び方		
		先 輩 農 業 者 か ら の 提 言	3.0	農業者の思い、日本農業の実体と課題、将来展望		
		プ ロ ジ ェ ク ト 活 動 の 意 義 と 進 め 方	1.5	プロジェクト活動の意義、展開過程、種類、効果		
		植 物 生 理	9.0	植物の構造、植物と無機栄養、光合成、植物の成長		
		雑 草 防 除	3.0	雑草の種類と生態、除草技術		
		病 害 虫 の 診 断 と 防 除	9.0	農作物の病害と診断・防除		
			9.0	農作物の害虫と診断・防除		
		農 薬 の 正 し い 使 い 方	3.0	農薬の基礎知識、ポジティブリスト制度、安全使用		
		土 壌 肥 料	6.0	土壌の生成・種類・構成、土壌の物理的・化学的性質		
			6.0	肥料と施肥、作物・土壌条件に見合った施肥設計技術		
		環 境 保 全 型 農	3.0	土づくり、減化学肥料栽培技術		
			3.0	病害虫の発生予察、減農薬栽培技術		
		農 業 気 象	3.0	農業気象の基礎		
		演習	土 壌 診 断	6.0		土壌診断の基礎、サンプリング、分析・診断
		講義	花 ぎ 栽 培 概 論	24.0		花き栽培の基礎、花き栽培の実用的技術
作 物 栽 培 概 論	12.0		作物(水稻、麦、大豆)栽培の基礎	作物		
作 物 栽 培 各 論	12.0		作物(水稻、麦、大豆)栽培の実用的技術			
果 樹 栽 培 概 論	12.0		果樹栽培の基礎	果樹		
果 樹 栽 培 各 論	12.0		果樹栽培の実用的技術			
野 菜 栽 培 概 論	24.0	野菜栽培の基礎、野菜栽培の実用的技術	野菜			
<b>履修時間小計</b>		<b>135.0</b>	<b>日数換算 22.5 日</b>			

区 分 ・ 科 目		時間	内 容	対象	
学 科	講義	農地制度の基礎	1.5	農地の現状、制限事項、農地の貸借	希望者
		農業金融制度の概要	1.5	制度資金の種類と目的、種類別の利用方法	
		就農支援制度の概要	3.0	新規就農者の動向、就農計画認定制度、就農支援資金	
		新規就農するためのノウハウ	3.0	意志決定、就農準備、計画、農地の取得、就農後のこと	
		市町村における就農支援	1.5	豊田市における事例(農ライフ創生センター)	
		新規就農者の経験談	3.0	就農準備、就農後の実情、農業への思い	
		専門高度化	24.0	花(2回)・作物(1回)・果樹(2回)・野菜(3回)の栽培等に関する最新の専門的な知識・技術	
	演習	パソコンによる農業簿記(操作編)	9.0	パソコンによる農業簿記の実務	
		農産物販売のためのブログの作成	9.0	農産物販売のための上手な写真の撮り方とブログの作成	
履修時間小計		0.0	日数換算 0.0 日 (ただし、希望者分は含まず)		
校外学習	研修部・校外学習	(18)	先進農家(農業法人・新規就農など)、農業総合試験場など	希望者	
	花き専攻・校外学習	(24)	先進農家(鉢物・切花など)など		
	作物専攻・校外学習	(24)	先進農家(農業法人など)、カントリーエレベータなど		
	果樹専攻・校外学習	(24)	先進農家(ナシ・イチジク・ブドウ・カキ・ミカンなど)など		
	野菜専攻・校外学習	(24)	先進農家(メロン・キュウリ・ナスなど)など		
	履修時間小計		0.0		日数換算 0.0 日 (ただし、希望者分は含まず)
合計		180.0	日数換算 30.0 日 (ただし、希望者分は含まず)		
実習	どちらか選択	自己ほ場	600.0	自己ほ場で実習	全コース
		先進農家	600.0	先進農家で実習(ただし、先進農家は各自で選定する。)	
	履修時間合計		600.0	日数換算 100.0 日	
資格・免許等	資格	大特免許	18.0	大型特殊免許(農耕車限定)取得のための講習 <b>(別に試験を受ける必要あり)</b>	希望者
	技能	大特トラクタ作業	24.0	耕起作業等作業機の操作方法及び農業機械の構造、整備等の知識習得	
	資格	けん引免許	24.0	けん引免許(農耕車限定)取得のための講習 <b>(別に試験を受ける必要あり)</b>	
	技能	初心者機の	18.0	小型機械の整備、点検、安全利用等の知識・技能習得	
	資格	小型車両系	12.0	バックホー等の知識及び基本操作等の技能習得、 修了証の取得	
	技能	農業機械士等	12.0	農業機械利用技能に関する知識・技能の習得 <b>(大特免許などの要件あり)</b>	
	資格	アーク溶接	18.0	アーク溶接の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、 修了証の取得	
	資格	刈払機	6.0	刈払機の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、 修了証の取得	

注1: 午前の部8:50~10:20、10:30~12:00、午後の部13:00~14:30、14:40~16:10

注2: 取得可能な資格・免許(ただし、別途受講料・手数料など必要です)

大型特殊免許(農耕車限定)、けん引免許(農耕車限定)、小型車両系建設機械特別教育修了証、アーク溶接特別教育修了証、刈払機安全衛生教育修了証

注3: 内容等は、都合により変更することもあります。